


多様性社会の実現と工学系女性研究者の研究力向上と育成・支援に向けて

ダイバーシティ推進センターの設置

本学におけるダイバーシティ活動をさらに発展させるため、文部科学省に教育研究組織改革概算要求を行い、2022年4月「ダイバーシティ推進センター」に組織を拡充しました。これにより、ダイバーシティと工学の視点をもった新しい知や価値の創出を先導し得る先駆的な技術者・研究者の人材育成を推進します。

また、本学は修学、教育・研究及び大学運営等あらゆる場面において、互いを尊重し、多様な人材の個性と能力を、いきいきと発揮できるキャンパスを実現するため、「豊橋技術科学大学 EQUAL」を掲げ、さらにダイバーシティ活動を推進していきます。



ダイバーシティ「EQUAL」

- Equity** 多様性*を認め、受け入れ、活かすキャンパス
- Quality** 人材育成による、しなやかで質の高いキャンパス
- Unity** 多様な人材が連帯感を持って機能するキャンパス
- Academics** ... 学識豊かな世界に開かれたキャンパス
- Learning** 誰もが学びやすく、働きやすいキャンパス

*多様な性的嗜好・性自認、国籍や文化的背景、年齢、価値観、障がいの有無等

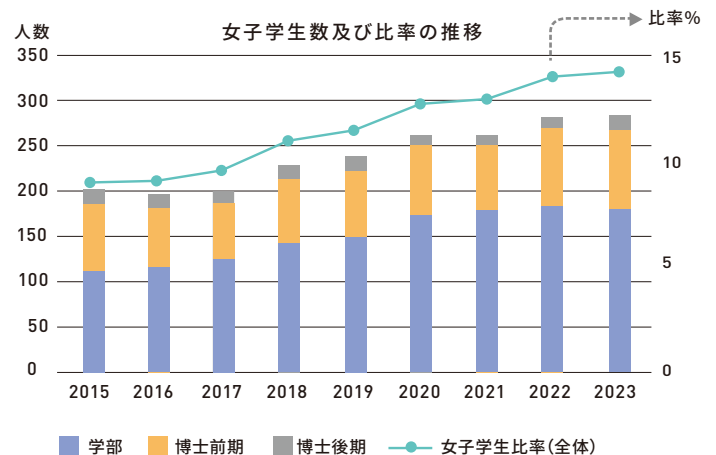
女子学生比率の向上に向けて

2019年度から3年間、女子学生特別支援制度により女子学生リーダーの育成に取り組み、2022年度からはダイバーシティ活動支援制度を設置し、全学生の参加による取組に発展させました。その成果として、女子学生の視点から本学を紹介する冊子の配布や、学生が主催するイベントを実施し、ロール

モデルとしての女子学生の活躍を全国の高専等へ情報発信しています。また、近隣の市や他大学と連携し、中高生向け理系進路選択支援事業に取り組んでいます。さらに、女子学生支援ではキャリア講演会の開催、女子学生ネットワークの構築等も行っています。



理工学分野を目指す女性に向けて、現役女子学生や本学OGからのメッセージ、女子学生に関するデータなどの情報を発信している冊子です。



ダイバーシティ活動支援学生との活動

2022年度からは、ダイバーシティと工学の視点をもった新しい知や価値の創出を先導し得る先駆的な技術者・研究者の人材育成のため、「ダイバーシティ活動支援学生」を募集しました。採択された学生とダイバーシティ推進センターとの共同で企画運営をし、「自分らしく生きる」をテーマにシンポジウムを開催し、学内外の多くの参加者と意見交換を行いました。



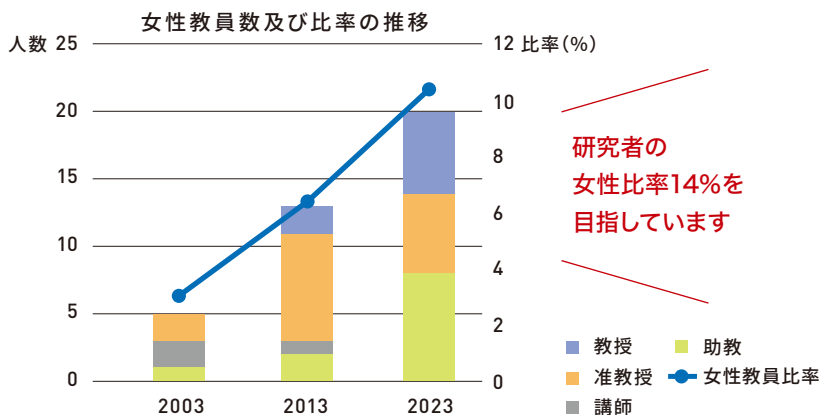
女性教員比率の向上と教職員の職場環境・制度の整備

女性限定・優先公募を実施し、女性教員の積極的な採用を行っています。2023年4月に、愛知県に「女性の活躍促進宣言」を申請して受理されました。また、職場環境改善のための取組として、施設整備(女性支援エリア設置、みんなのトイレ設置)や制度整備(託児費補助、在宅勤務制度導入)を

進めています。また、男性育児休業や介護休暇取得率向上に向け、「育児・介護のための応援メッセージ」を作成・配布するとともに、2022年8月に寺嶋一彦学長より「イクボス宣言」を発信し、教職員の働きやすい環境づくりをしています。



だれもが働きやすい職場環境を目指して、本学教職員の経験談や応援メッセージを集めました。



学長との意見交換会

学長と教職員との意見交換会を、様々なテーマに沿って、年に数回程度行っています。そこで上がった問題点や課題は、しっかりとPDCAサイクルを回して制度に反映させています。



教職員・学生の意識啓発等の取組

教職員・学生の意識啓発・改革の活動として、ハラスメント防止やLGBTQ+に関する講演会を開催してきました。また、楽しみながらダイバーシティについて考えるきっかけづくりとして、毎年川柳コンテストを実施しています。



多様な働き方、文化、性、価値観等について、本学の学生や教職員からのメッセージを集めた冊子です。

ダイバーシティに関する認定状況

2023年11月7日、一般社団法人work with Prideが策定したLGBTQに関する取組評価指標「PRIDE指標2023」において、本学の達成状況を評価され「シルバー」を取得しました。



一般事業主行動計画に基づき2019年4月から2022年3月までの3年間に実施した施策と取組の成果を根拠として2022年6月に申請を行い、2022年7月21日に「くるみん認定」を受けました。

